

✓ファイル 8

三島食品株式会社

工場内の製造ラインに障害者を雇用しているほか、障害者の体験実習を積極的に受け入れている企業



企業情報

昭和24年（1949年）1月、広島市中区舟入南町に三島商店を開業。昭和36年（1961年）に三島食品株式会社に社名変更し、現在に至る。ふりかけをメインに混ぜご飯の素、レトルト食品などを製造・販売しており、赤しそふりかけ「ゆかり®」は多くのスーパーマーケット、食料品店で取り扱われている。広島・東京に本社、仙台・名古屋・大阪などに営業所や出張所を置くほか、埼玉・広島で工場を創業。小学校の社会見学で多くの児童を受け入れている。



PROFILE

- ◆所在地 広島本社：広島市中区南吉島2丁目1番53号
- ◆代表者 代表取締役社長 三島 豊
- ◆電話番号 (082) 245-3211
- ◆常時雇用労働者数 430人
- ◆障害者雇用数 7人

管理本部人事マネージャー秀高さんにインタビュー

Q. 障害者雇用にどのように取り組まれましたか？

弊社では、現在、工場の生産ライン等で聴覚障害者、身体障害者、視覚障害者を雇用しています。障害者雇用については、創業時に近隣の聾学校（現在の県立広島南特別支援学校）の卒業生を受け入れたことから始まり、創設者の「一度雇用したら定年まで働いてもらう」という方針のもと、長く働いてもらうために、一人一人の適性や障害の状況、加齢に応じて仕事の内容を考慮しています。障害者の方と一緒に仕事をするのが普通の姿だと思っており、来年度も特別支援学校の新卒生を採用する予定です。



秀高さん

Q. 雇用期間が長い方が多いとお聞きしましたが、どのような配慮をされていますか？

工場では鰯を蒸して乾燥させたものを削る作業をしている社員は30年以上働く大ベテランで、職場から人望が厚かったので、定年後も働いてほしいとお願いし、今年再雇用しました。また、業務用ゆかり（500g）の大袋の詰め・シール貼りや、ラインで粉末状にする作業している社員なども勤務年数は長いですね。食品を扱う仕事なので、夏場でも

マスク・作業着を着用しなければいけないので、結構過酷な作業だと思えますが、皆さん辞めずに頑張ってもらっています。特別なことはしていないのですが、聴覚障害の方でもラインで異常があった時に気が付きやすいように非常灯を設置したり、一人一人に連絡ブザーを持ってもらって、何かあれば直属の上司にすぐにつながるよう配慮しています。また、社員からの提案で、聴覚障害の社員を講師に手話教室を行っています。総務部でも手話ができる社員は何人かいますが、もっとお互いが理解し合えるような環境になればと思っています。障害を持っていることを理由に特別な扱いはしていませんので、朝礼時の当番も順番にやってもらっています。他は、声掛けをこまめに行うなど、社員が孤立しないように心掛けていくくらいでしょうか。



Q. 障害者雇用に関して独自の取り組みはありますか？

発達障害者の方の実習の受け入れを数年前から行っています。ふりかけ等を作る過程では、独特な匂いが発生するので、実習生の中には「匂いがダメ、音が気になる」とトイレに頻繁に行く人がおり、違う障害の方を雇用することについては多少躊躇している状況があります。無理に仕事を切り出して障害者の方を受け入れても職場で受け入れられなければ長続きはしないと思っています。これからも積極的に障害者の方の実習を受け入れ、何ができるか考えたいと思っています。

Q. 新たに障害者を雇用しようとする企業へのメッセージがあればお願いします。

無理に仕事を切り出すとどこかで弊害がでると思うので、できるところから始めるしかないと思います。

職場訪問

ゆかり（業務用）袋詰め作業



材料運搬、鯉削り作業



洗浄作業

